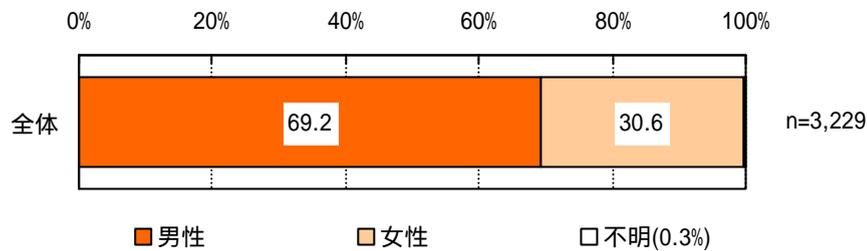


II. 調査結果

- 1. 調査結果の概要

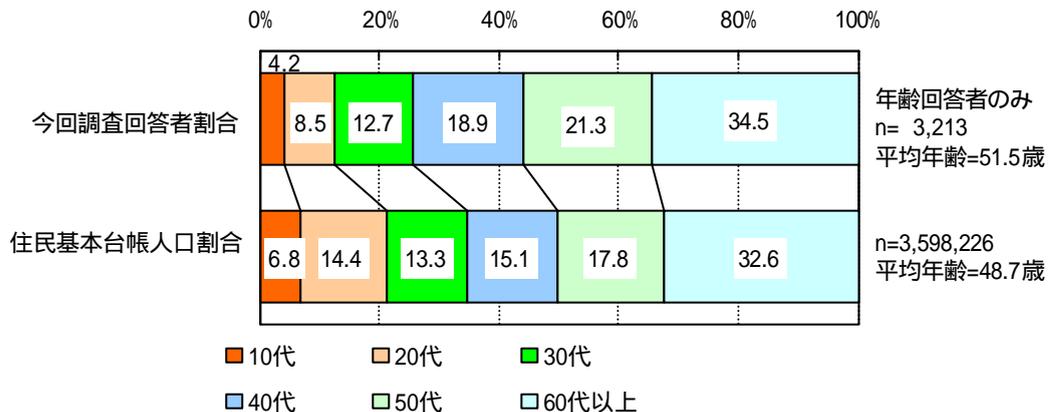
[1] 回答者の属性

1) 男女別回答者割合(図 -1)



・男性回答者は69%、女性は31%となっている。

2) 年代別回答者割合(図 -2)

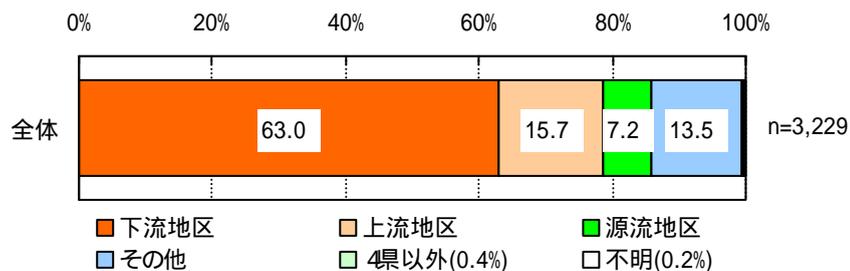


資料: 住民基本台帳

(徳島県・香川県・愛媛県・高知県平成13年3月31日現在)

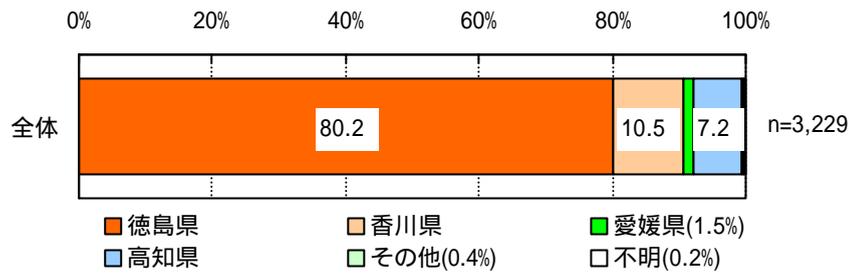
・60代以上の回答者が35%で一番多く、次いで50代の21%となっている。
回答者の平均年齢は51.5歳となり、住民基本台帳による四国4県の平均年齢48.7歳より2.8歳高くなっている。

3) 地区別回答者割合(図 -3)



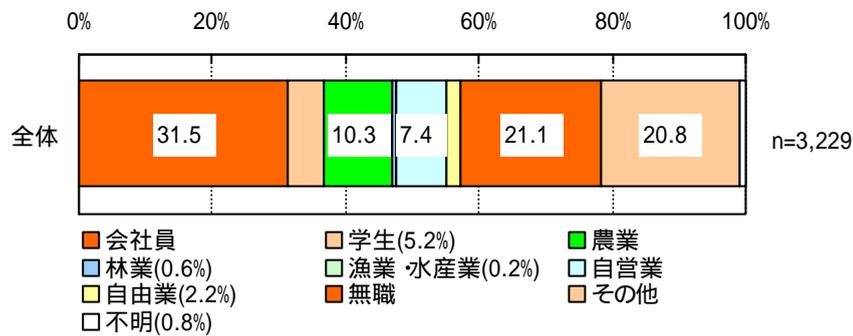
・下流域(徳島市、鳴門市など河口部や旧吉野川流域)の回答者が63%となっている。

4) 県別回答者割合(図 -4)



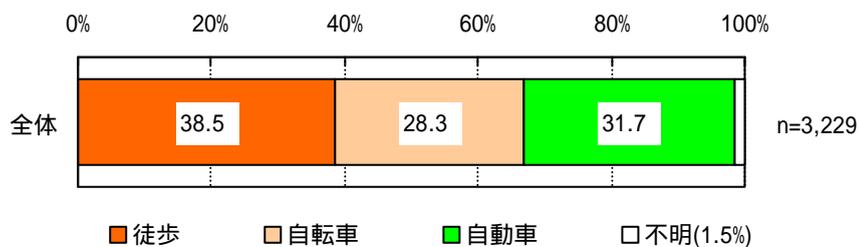
・ 県別に見ると、徳島県の回答者が 80%と大部分を占めている。

5) 職業別回答者割合(図 -5)



・ 回答者の職業別割合を見ると、会社員が一番多く 32%、次いで無職 21%、その他 21%が多くなっている。その内訳を見ると公務員、主婦などが多くなっている。

6) 距離別回答者割合(図 -6)

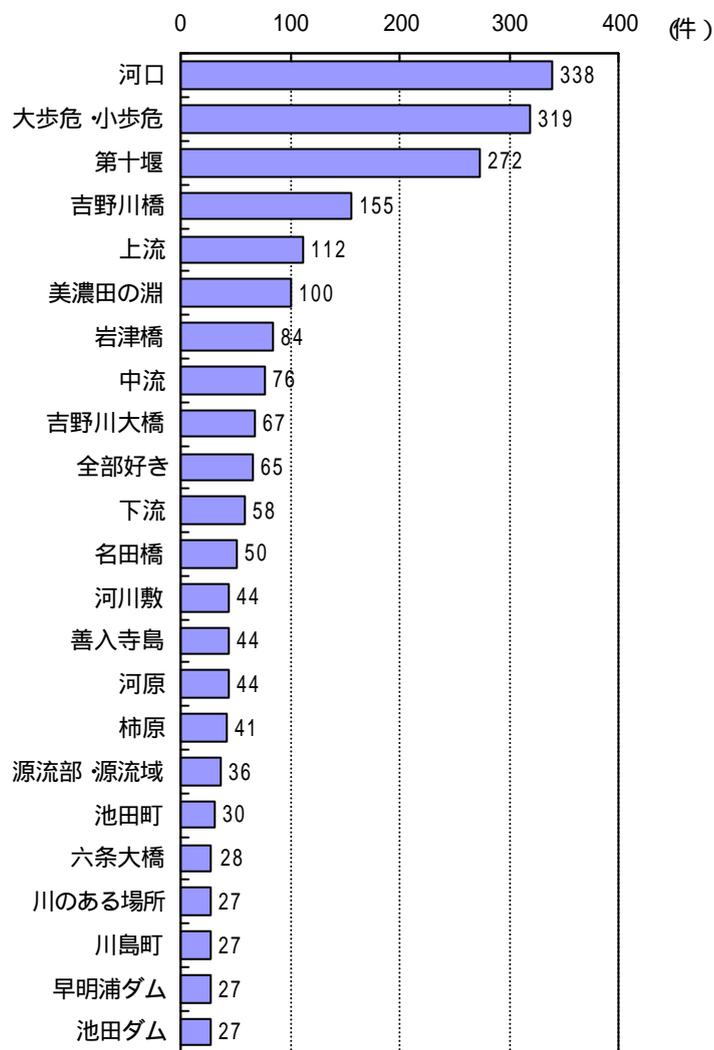


・ 距離別では、およそ 1 km未満 (徒歩で行ける距離) の人が 39%、およそ 4 km未満 (自転車で行ける距離) の人が 28%、およそ 4 km以上 (自動車で行ける距離) の人が 32%となっている。

[2]問6 . 吉野川であなたの好きな場所はどこですか？

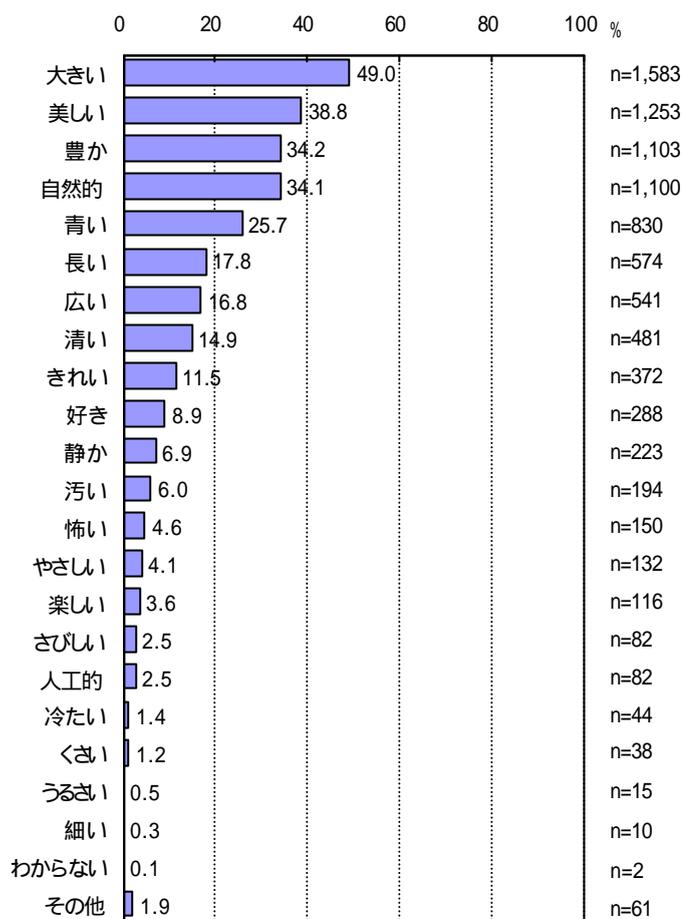
- ・ 吉野川の好きな場所を自由回答方式で聞いた結果、主なものは次の通りである。
(総回答者数 3,229 人 (複数回答あり) による回答の内、上位 20 箇所を示す。)

吉野川の好きな場所(図 -7)



[3]問7 . 吉野川のイメージは？

1)イメージすることはどのようなことですか。(図 -8)

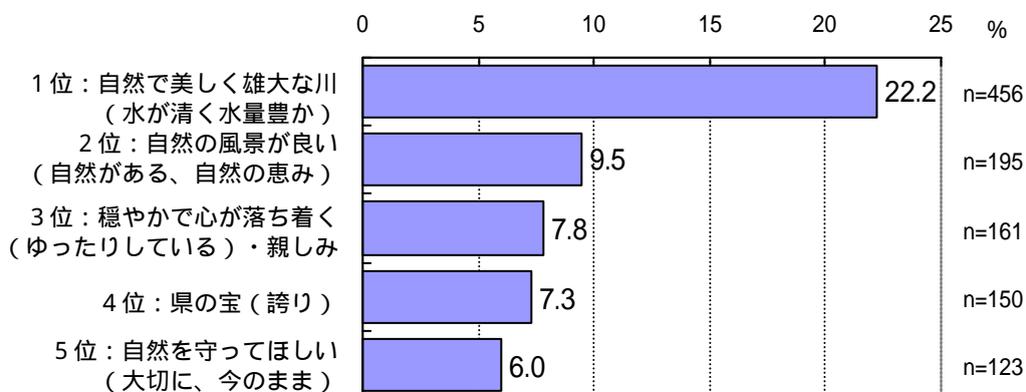


総回答者数 3,229 を 100 とした

・大きい、美しい、豊か、自然的など自然の良さをイメージする人が多くなっている。

2)あなたのご意見をお聞かせ下さい(自由意見)

吉野川のイメージをお聞きした結果を、小グループ毎に多い順に並べると下記のとおりである。(図 -9)



総情報数 2,058 件を 100 とした

ご意見ご提案を中グループ毎に見てみると、以下のご意見ご提案があった。

川への思い

- ・「自然で美しく雄大な川（水が清く水量豊か）」(456 件)
- ・「自然の風景が良い（自然がある）」(195 件)
- ・「穏やかで心が落ち着く（ゆったりしている）・親しみ」（161 件）
- ・「県の宝（誇り）」(150 件)
- ・「自然を守って欲しい（大切に、今のまま）」(123 件) など

川の整備

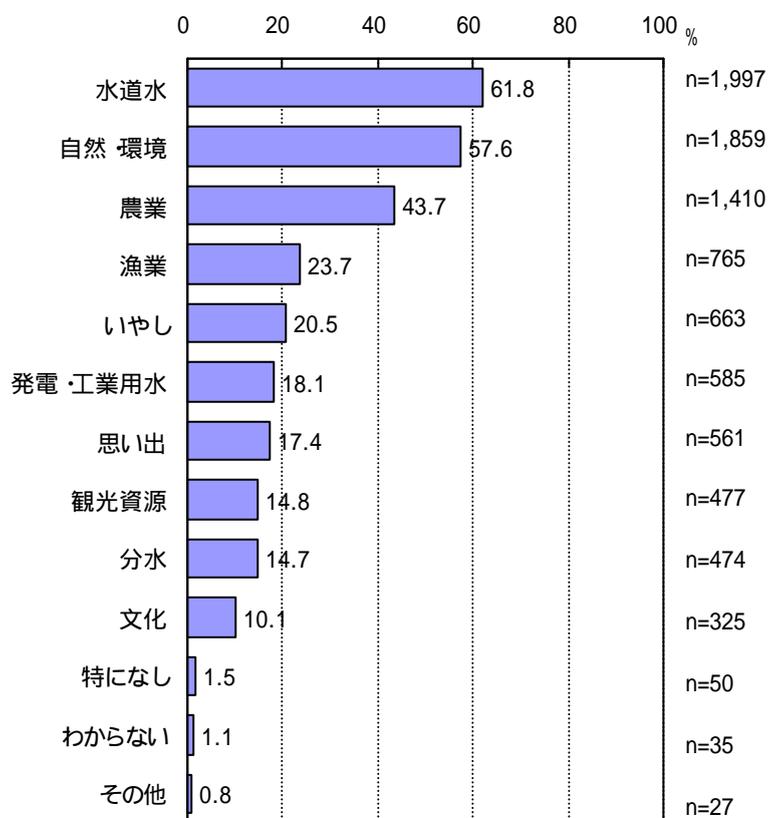
- ・「ダムについて（ダムが出来て良くなった、悪くなった、その他）」(65 件)
- ・「自然を活かした整備」（37 件）
- ・「あまり手を入れないで」（26 件）
- ・「堰について」（17 件) など

その他

- ・「水が汚れている、排水について、下水道の整備」（97 件）
- ・「雑草や木が多く、ごみが捨てられている、きれいにしたい」（81 件）
- ・「不法投棄の取り締まりを望む」（12 件) など

[4]問 8 . 吉野川の恵みは？

1) 恵みをイメージするものはどのようなことですか(図 -10)

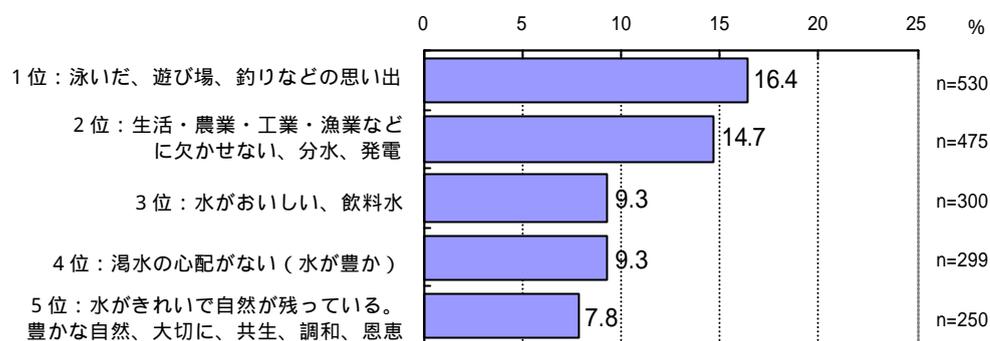


総回答者数 3,229 を 100 とした

・吉野川からの恵みとして水道水、自然環境、農業、いやしなどをあげる人が多くなっている。

2)具体的にはどのようなことですか(自由意見)

吉野川からの恵みとしてのイメージをお聞きした結果を、小グループ毎に多い順に並べると下記のとおりである。(図 -11)



総情報数 3,222 件を 100 とした。

ご意見ご提案を中グループ毎に見てみると、以下のご意見ご提案があった。

幼い頃のこと(昔 以前)

- ・「泳いだ・遊び場・釣りなどの思い出」(530件)
- ・「シジミ・エビ取り」(55件)
- ・「藍染めや竹細工・そうめんが産まれていた」(35件)など

水量・水質

- ・「生活・農業・工業・漁業などに欠かせない、分水、発電」(475件)
- ・「水がおいしい、飲料水」(300件)
- ・「湯水の心配がない(水が豊か)」(299件)
- ・「命の水・川の恵み」(191件)など

自然

- ・「水がきれいで自然が残っている。豊かな自然。大切に。共生。調和。恩恵」(250件)
- ・「生活に関して癒しである」(211件)
- ・「魚釣り、貝掘りができ、恵みを感じる。魚がたくさんいる」(153件)
- ・「現在は引いたのできれいに残してほしい。魚が少なくなった。ゴミが多い」(98件)
- ・「清い姿はそのまま(美しい自然)」(74件)など

災害

- ・「洪水が心配だ」(22件)など

河川敷

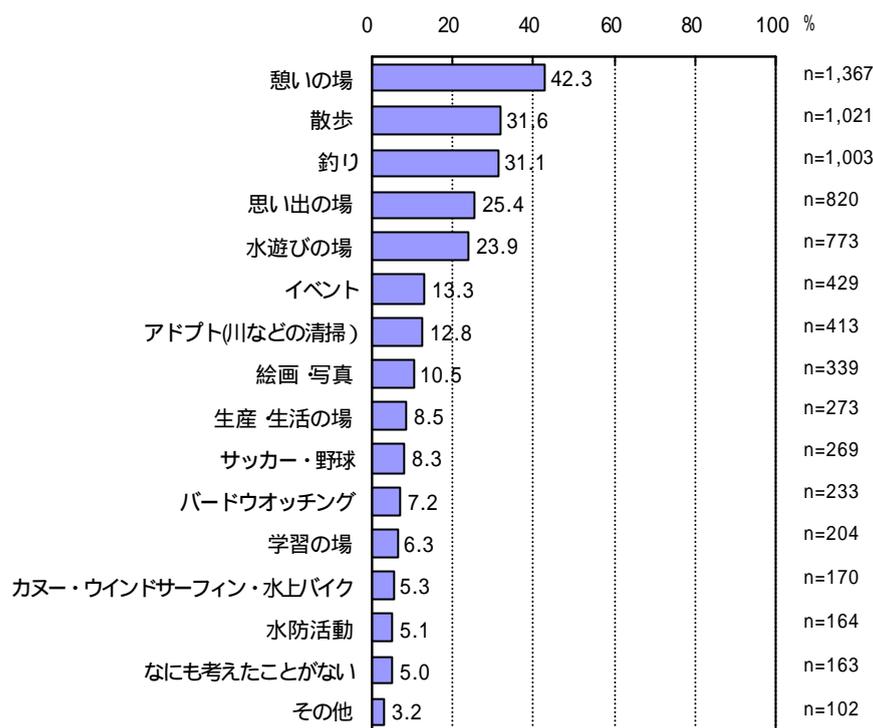
- ・「誰でも行ける広場であってほしい、散歩」(17件)
- ・「野球・遊び」(13件)など

その他

- ・「徳島のイメージ、象徴である。誇り。宝。故郷」(55件)
- ・「観光資源」(48件)
- ・「文化を感じる」(32件)など

[5]問9 . 吉野川とのつき合い方は？

1)あなたのつきあい方について(図 -12)

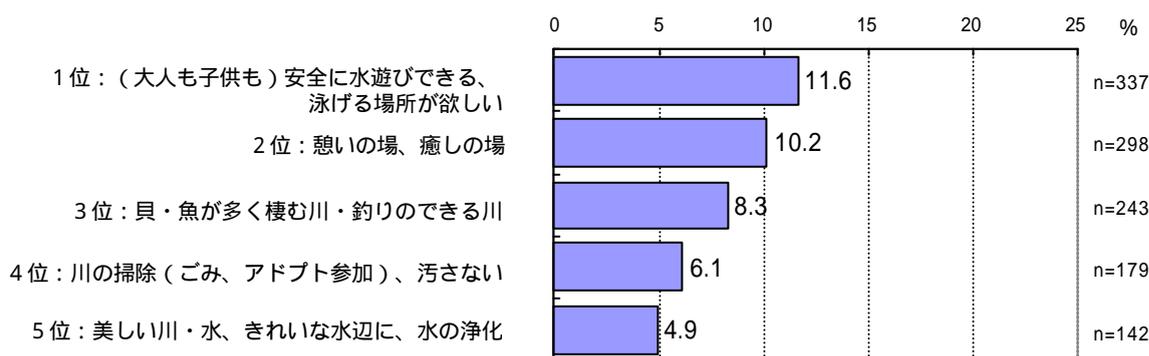


総回答者数 3,229 を 100 とした。

吉野川との付き合い方について聞いた結果、「憩いの場」「散歩」「釣り」「思い出の場」などが多くなっている。

2)今後のつき合い方として、どのようなことを望みますか。(自由意見)

吉野川とのつき合い方についてをお聞きした結果を、小グループ毎に多い順に並べると下記のとおりである。(図 -13)



総情報数 2,913 件を 100 とした。

ご意見ご提案を中グループ毎に見てみると、以下のご意見ご提案があった。

自然

- ・「憩いの場 癒しの場」(298 件)
- ・「貝・魚が多く棲む川・釣りのできる川」(243 件)
- ・「美しい川・水、きれいな水辺に、水の浄化」(142 件)

- ・「自然を守りつつ、自然を感じるつき合い方」(110件)
- ・「豊かな水量(資源)・雄大」(110件)など

遊び・施設など利用

- ・「(大人も子供も)安全に水遊びできる、泳げる場所が欲しい」(337件)
- ・「自然道・散歩道・遊歩道、自然公園、親水公園などの整備」(135件)
- ・「施設を設けて目的別に楽しく(キャンプなど)」(92件)
- ・「河川敷の活用・拡大・利用・整備」(79件)
- ・「吉野川のイベント・行事」(75件)など

整備・掃除

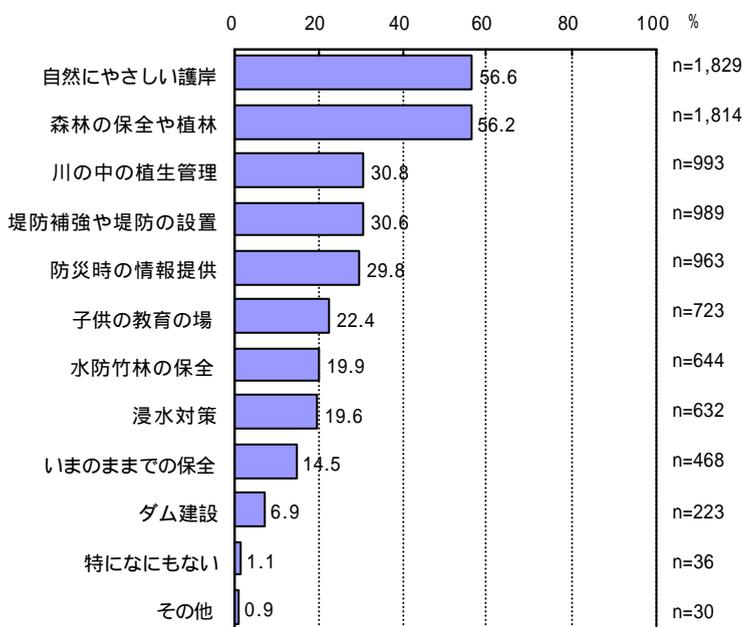
- ・「川の掃除(ごみ、アドプト参加)、汚さない」(179件)
- ・「堤防上の整備」(51件)
- ・「ダムについて、賛成、反対などの様々な意見」(34件)
- ・「人工的なものはもういい」(32件)
- ・「水害のない川に整備して欲しい」(21件)など

その他

- ・「思い出の場所、懐かしく感じる場として」(76件)
- ・「財産・誇り・居場所・宝・喜びである」(30件)
- ・「観光資源」(13件)など

[6]問10.安全で安心なうるおいある暮らしのために

1)安全で安心なうるおいのある暮らしのために何が必要か(図 -14)



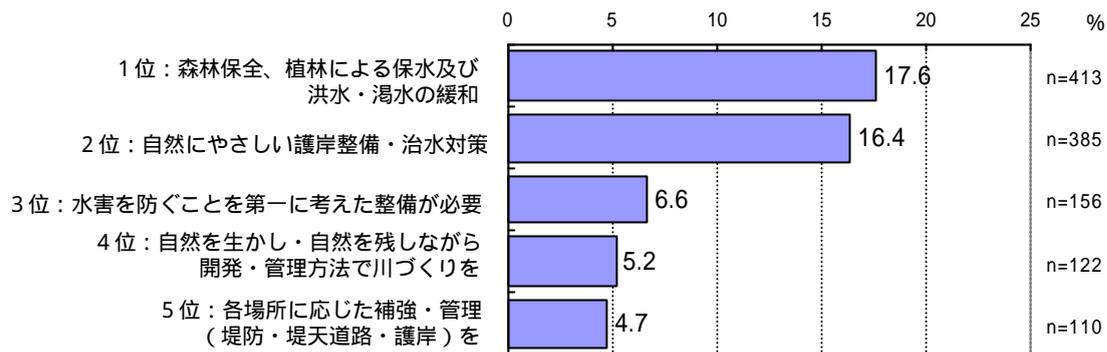
総回答者数 3,229 を 100 とした

- ・「自然にやさしい護岸」「森林の保全や植林」をあげる人の割合が多くなっている。

2)具体的にはどのようなことですか(自由意見)

吉野川とのつき合い方についてをお聞きした結果を、小グループ毎に多い順に並べ

ると下記のとおりである。(図 -15)



総情報数 2,347 件を 100 とした。

ご意見ご提案を中グループ毎に見てみると、以下のご意見ご提案があった。

自然環境

- ・「自然を生かし・自然を残しながら開発・管理方法で川づくりを」(122件)
- ・「自然を大切に」(85件)
- ・「魚が棲む美しい川に」(41件)
- ・「広葉樹を多くして」(35件)
- ・「自然に優しく生態系を守る環境づくり」(33件)など

整備・治水

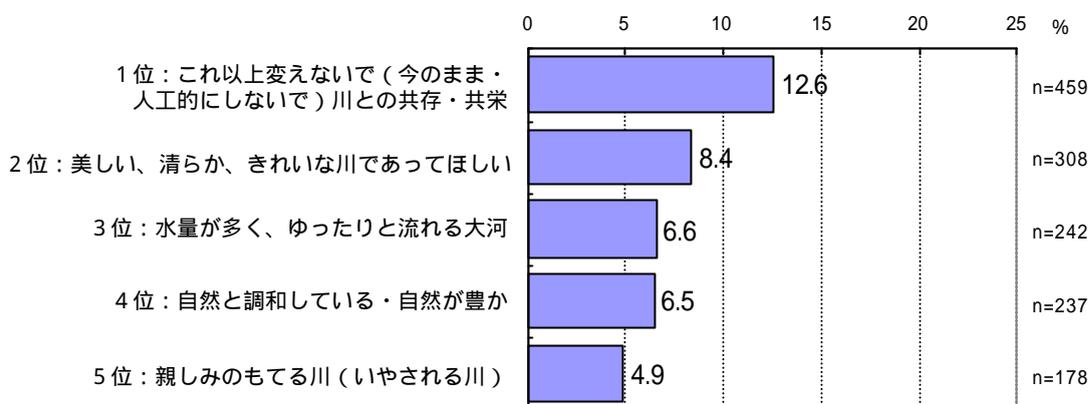
- ・「森林保全、植林による保水及び洪水・濁水の緩和」(413件)
- ・「自然にやさしい護岸整備・治水対策」(385件)
- ・「水害を防ぐことを第一に考えた整備が必要」(156件)
- ・「各場所に応じた補強・管理(堤防・堤天道路・護岸)を」(110件)
- ・「ダムに関する賛成、反対等様々な意見」(107件)など

その他

- ・「ゴミのないきれいな河川に(水質も)」(63件)
- ・「子供が川で遊べたり教育の場にして欲しい」(60件)
- ・「川の情報(災害時等)を提供してほしい」(49件)
- ・「住民・県民の意識を向上させる」(39件)
- ・「家庭排水に気をつける、下水道整備」(38件)など

[7]問11. 吉野川の将来像

将来、吉野川がどうなったらいいかを聞いた結果を、小グループ毎に多い順に並べてみると以下のとおりである。(図 -16)



総情報数 3,656 件を 100 とした。

ご意見ご提案を中グループ毎に見てみると、以下のご意見ご提案があった。

自然

- ・「これ以上変えないで(今のまま・人工的にしないで)川との共存・共栄」(459件)
- ・「水量が多く、ゆったりと流れる大河」(242件)
- ・「自然と調和している・自然が豊か」(237件)
- ・「上流・下流をきれいにし、山川を守る」(165件)
- ・「他に誇れる川に(宝)」(148件)など

安全・親しみ

- ・「親しみのもてる川(いやされる川)」(178件)
- ・「危険がなく安心して遊べる川」(89件)など

水質

- ・「美しい、清らか、きれいな川であってほしい」(308件)
- ・「家庭排水の流入・汚水、浄化、下水道」(145件)
- ・「虫・生物・魚のいる川」(104件)
- ・「飲み水は(自分たちで)守ってきたい」(23件)など

交通

- ・「道路・橋など交通アクセスについて」(28件)

県民の意識

- ・「吉野川を守る意識を高める」(125件)
- ・「協力してきれいに」(70件)
- ・「県民・住民のための川」(22件)
- ・「住民の意識を大切に」(14件)など

治水・利水

- ・「森林の植林や堤防整備により治水対策を」(132件)
- ・「洪水のない川(水害・住民の安全)」(122件)
- ・「第十堰の整備についての様々な意見」(48件)

・「ダム・堤防はらない」(41件)

・「水の確保」(38件)など

河川敷の利用・整備

・「イベントについて」(85件)

・「運動施設・キャンプ場の施設(サイクリング等)」(54件)

・「憩いの広場を(公園)」(37件)など

その他

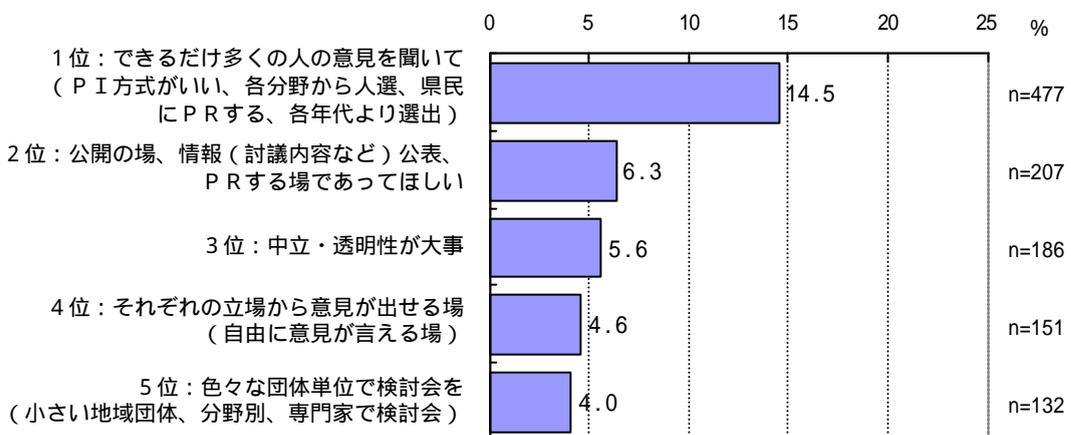
・「観光について・PRについて」(66件)

・「国土交通省への批判・要望など」(21件)

・「ごみの不法投棄について」(13件)など

[8]問12. よりよい吉野川づくりのために

1)問12-1「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」はどのような場であって欲しいかを聞いた結果を、小グループ毎に多い順に並べると下記のとおりである。(図-17)



総情報数 3,301 件を 100 とした。

ご意見ご提案を中グループ毎に見てみると、以下のご意見ご提案があった。

検討の場の構成員

・「流域住民・官公庁・学識経験者で構成」(105件)

・「政治家・業者(利権)の介在は排除」(89件)

・「みんなの意見をまとめてくれる人」(76件)

・「大人だけでなく子供も参加(若者、女性、PTAも参加)」(59件)

・「民間人・地域住民が主体(エライ人ばかりではダメ。行政主導でなく)」(54件)など

多方面から意見を取り入れる方法

・「できるだけ多くの人の意見を聞いて(PI方式がいい、各分野から人選、県民にPRする、各年代より選出)」(477件)

・「色々な団体単位で検討会を(小さい地域団体、分野別、専門家で検討会)」(132件)

・「川に関係の深い人、お年寄りなどの意見を聞いて(現場の事情に詳しい人)」(64件)

・「アンケート方式は良い(住民投票も一方法)」(59件)

- ・「知識人や専門家の意見も十分取り入れる」(51件)など

検討の場のテーマ

- ・「自然豊かな吉野川は残す(共生)」(120件)
- ・「治水・利水・環境のバランスがとれた話し合い」(47件)
- ・「一人一人の意識を改革、マナーを考え直す」(37件)
- ・「水害のないことが重要」(35件)
- ・「汚染されていない川を取り戻す(水質管理)」(31件)など

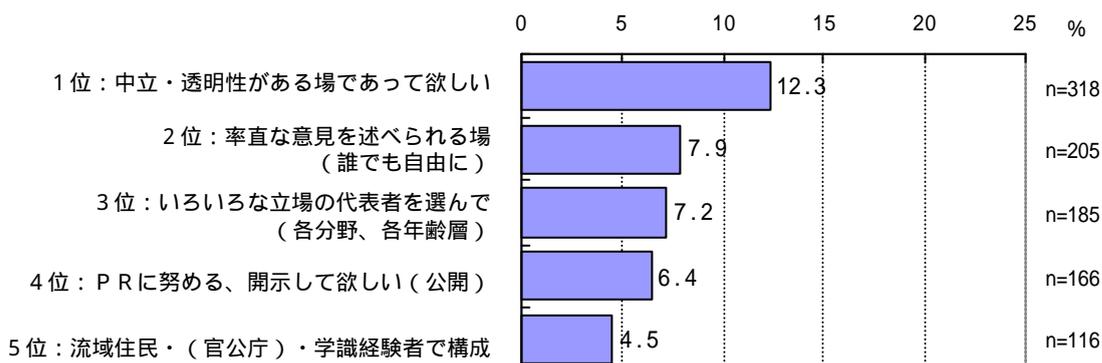
検討の場の姿勢

- ・「公開の場 情報(検討内容など)公表、PRする場であってほしい」(207件)
- ・「中立・透明性が大事」(186件)
- ・「それぞれの立場から意見が出せる場(自由に意見が言える場)」(151件)
- ・「十分に話し合いが出来る場」(88件)
- ・「一部の人の意見に偏らないよう配慮が必要」(46件)など

その他

- ・「人間の都合で「川づくり」をするのはおかしい(川は自然のもの)」(41件)
- ・「現場(川原)で検討会をしたら(フィールドワーク、イベント開催など)」(30件)
- ・「住民の意見は参考にするが行政主導で進めてゆく具体的な話し合いの場」(26件)
- ・「形式だけの検討会は不要(検討会は不要)」(19件)
- ・「国土交通省が立案し、有識者が検討し、流域住民が参加」(19件)など

2)問12-2「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」の準備会についてどのような場であって欲しいかを聞いた結果を、小グループ毎に多い順に並べると下記のとおりである。(図-18)



総情報数 2,581 件を 100 とした。

ご意見ご提案を中グループ毎に見てみると、以下のご意見ご提案があった。

構成員

- ・「いろいろな立場の代表者を選んで(各分野、各年齢層)」(185件)
- ・「流域住民・(官公庁)・学識経験者で構成」(116件)
- ・「人選については公平な人を選ぶ、公平・中立な人で構成」(77件)

- ・「吉野川を真剣に考えて活動している人、良く理解している人」(69件)
- ・「民間人で運営(一般人、流域住民が主体)」(59件)など

納得できる会

- ・「PRに努める、開示してほしい(公開)」(166件)
- ・「学識経験者に立案してもらい検討する」(64件)、
- ・「一部の人だけの意見に偏らないような配慮が必要(場所、日時も含めて)」(52件)
- ・「十分に話し合いができる場(安易な妥協案で適当なことをしないで)」(52件)
- ・「専門家と協調を図り、納得できる話し合いを進める(専門家の意見も聞く)」(34件)など

官の役割

- ・「国・県・市の主導でなく県民の中から起こった意見で話し合える会」(35件)
- ・「行政(政府)の計画を押し付けないで」(23件)
- ・「川についての情報提供が欠かせない」(20件)
- ・「官は世話役に徹して」(14件)
- ・「必要な整備は国、県が行政と政治の場ですべき」(12件)など

準備会の性格

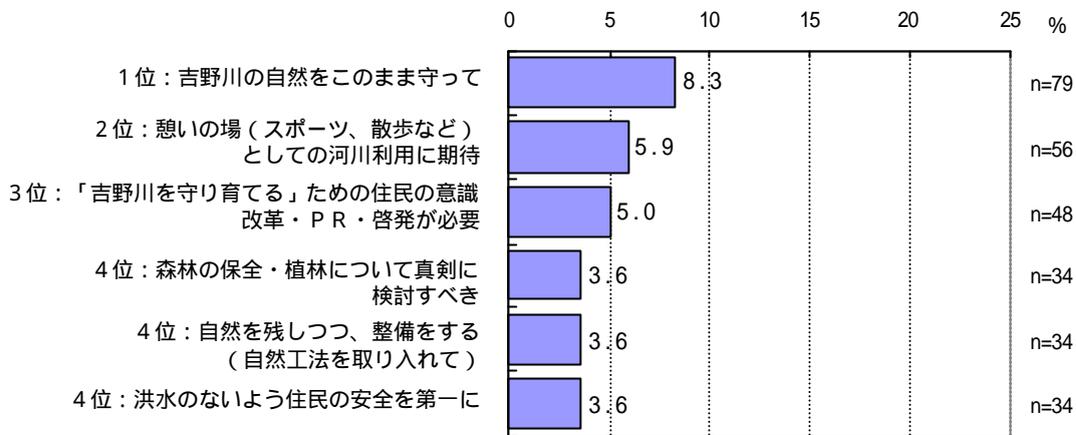
- ・「中立・透明性がある場であって欲しい」(318件)
- ・「素直な意見を述べられる場(誰でも自由に)」(205件)
- ・「流域住民の意見を聞いて(流域住民の安全を守るよう)」(85件)
- ・「分科会(地域・分野・専門別)で検討する」(58件)
- ・「治水・利水・環境のバランスがとれた話し合いの場」(48件)など

準備会の雰囲気

- ・「自然が大切との共通意識が持てる会」(52件)
- ・「利害が絡まない会にする(自己の利益のみにとらわれず意見を発表できる場)」(44件)
- ・「民主的に和やかに運営」(23件)
- ・「楽しい方が良い意見がでるように思うので、室内だけでなく川で話し合うのはどうか」(16件)
- ・「話し合いの内容を分かりやすいものにして」(14件)など

[9]みなさま方のご自由なご意見ご提案として

自由な意見や提案など、さまざまな意見が寄せられている。寄せられた意見を小グループ毎に多い順に並べると下記のとおりである。(図 -19)



総情報数 953 件を 100 とした。

ご意見ご提案を中グループ毎に見てみると、以下のご意見ご提案があった。

全般的なこと

- ・「専門的知識に基づいた治水、利水、環境のバランスが大事」(23 件)
- ・「川(自然)をいじめるのはやめてほしい」(16 件)
- ・「整備への具体的要望」(12 件)
- ・「全国に誇れる吉野川にしたい」(12 件)
- ・「住民の意見が反映された川づくりをして」(12 件)など

自然を守る

- ・「吉野川の自然をそのまま守って」(79 件)
- ・「森林の保全・植林について真剣に検討すべき」(34 件)
- ・「自然を残しつつ、整備をする(自然工法を取り入れて)」(34 件)
- ・「昔の吉野川を取り戻して(きれいな川にして)」(20 件)
- ・「貴重な吉野川の自然を残すこと(守ること)への取り組みが重要」(14 件)など

治水対策

- ・「洪水のないよう住民の安全を第一に」(34 件)
- ・「源流から下流まで一体となって取り組むべき」(12 件)など

水質・水量

- ・「水質悪化が起きないように河川管理をしてほしい」(22 件)
- ・「もっと水量を豊かにして、自然を取り戻して」(15 件)など

河川利用

- ・「憩いの場(スポーツ、散歩など)としての河川利用に期待」(56 件)
- ・「イベントは必要ない」(13 件)
- ・「交通網を整備して」(10 件)など

ダム

- ・「ダムができて川が汚くなった」(20 件)など

堰

- ・「堰は今のままで補修・補強を！」(18件)
- ・「第十堰問題を早急に解決してほしい」(12件)
- ・「可動堰は絶対反対」(10件)など

ゴミ対策

- ・「(不法投棄など)住民のモラルの向上は必要」(30件)
- ・「ゴミ投棄清掃などの対策はないものか」(14件)など

国土交通省の姿勢

- ・「もっと話し合いの場を作ってほしい(住民の意見を取り入れて)」(22件)
- ・「情報公開(PRも必要)」(21件)
- ・「利権・利害は排除して本当に吉野川のことを考えてほしい」(15件)
- ・「貴事務所の講座や、催し物など意欲的な取り組みに賛同する」(12件)
- ・「国土交通省の主導で整備計画を進めて(「地域によって利害が異なる」ので周りの意見を聞きすぎないで)」(11件)など

その他

- ・「「吉野川を守り育てる」ための住民の意識改革・PR・啓発が必要」(48件)
- ・「吉野川への思い、思い出」(29件)
- ・「アンケートに関して(難しい、設問が悪い)」(17件)など